

地方創生の取り組み 11

津別が誇る地域の資源と、豊富な森林資源、それを活用した様々な産業と優秀な加工品。また、肥沃な大地を生むた農畜産業、そこから生まれる他ではまねできない有機野菜、乳製品、和牛。そして、原始の森に囲まれたチミケップ湖、津別峠から見下ろす雲海。このポテンシャルをどれだけ生かせているか。その鍵は、個々の資源の連携と新たなファンの獲得にあると考えられます。



▶福祉施設での山田賢明さんのライブの様子

津別のポテンシャルを最大限に活用して

ひきこもり、障がい、心の病について、正しい認識を深める

誰もが安心して暮らせる地域を創るために、ひきこもり者支援を津別町社会福祉協議会、町内福祉関連事業所と連携しながら進めています。しかし、全国的な問題でもある福祉関連の仕事に携わる人材不足が町内にもあり、支援を広く展開させていくにも「担い手」がないために広げられない現状があります。

このことから、多くの方の理解と協力、担い手を発掘し

再生可能エネルギーの導入可能性を調査～まちづくりへの活用を目指して～



►町のペレット製造施設

津別が誇る地域の資源と、豊富な森林資源、それを活用した様々な産業と優秀な加工品。また、肥沃な大地を生むた農畜産業、そこから生まれる他ではまねできない有機野菜、乳製品、和牛。そして、原始の森に囲まれたチミケップ湖、津別峠から見下ろす雲海。このポテンシャルをどれだけ生かせているか。その鍵は、個々の資源の連携と新たなファンの獲得

再生能源工エネルギーを活用したまちづくりについて、地方創生の取り組みの一つです。町では、木質バイオマスを中心とした再生可能エネルギーの利活用を推進しており、これまで木質ペレット製造施設を整備、公共施設を中心とした木質ペレットボイラの導入など、豊富な森林資源をベースとした「エネルギー」

の地産地消」を目指す取り組みを実施してきました。地方創生事業としては、昨年度に津別町の森林資源調査として航空機を使つたレーザー計測を行い、樹木の高さや樹種などのデータを取得し、今後の森林成長量などを予測して、持続可能な木質バイオマスエネルギー活用に役立てる予定です。

これからも、複合庁舎を皮切りに、これから整備されるまちなかの施設にも木質バイオマスを中心に、他の再生可能エネルギーの導入も視野に入れた活用手法を検討してまいります。

気になる用語説明⑦

【木質バイオマス】

「バイオマス」とは、生物資源(bio)の量(mass)を表し、「再生可能な生物由来の有機性資源」のことをいいます。そのなかで、木質からなるバイオマスのことを「木質バイオマス」と呼びます。木質バイオマスには、主に樹木の伐採や造材のときに発生した枝、葉などの林地未利用材、製材工場などから発生する樹皮や、こくずなどのほか、住宅の解体材や街路樹の剪定枝など、様々な種類があります。



リニューアルオープン
2019年4月下旬(予定)



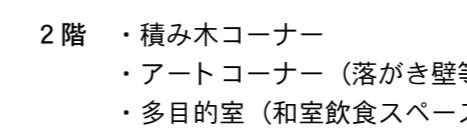
完成予想図・内部

【主な遊具・設備等】

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 問い合わせ先 | 産業振興課商工観光グループ
☎ 76-2151(内線315) |
| ※多くの方に親しまれ、活用していただける施設となるよう、愛称を募集する予定です。改めてご案内いたしますので、ぜひ応募ください。 | |
| 1階 | |
| ・水遊びができる噴水 | |
| ・大型遊具：森のアドベンチャー(ウッドデッキ、滑り台、玉コロ木琴、吊り橋、クライミングネット等) | |
| ・おままごとコーナー | |
| ・クライミングウォール | |
| ・ボールプール | |
| ・親子コーナー（授乳室等、空調完備） | |
| ・林産業企業紹介コーナー | |
| ・販売コーナー（木工品） | |
| 2階 | |
| ・積み木コーナー | |
| ・アートコーナー（落書き壁等） | |
| ・多目的室（和室飲食スペース） | |



1階・平面図



2階・平面図